

二五 元文四年九月 江戸麻問屋新規開業につき吾妻荷主あて

取引き依頼状〔C〕

一札之事

一此度、高間伝兵衛殿麻問屋株、我等両人方江讓受、「那波屋十五郎と申名題なだいニ而、麻問屋相勤申候、以来」前々之通御荷物御送り可レ被レ下候、荷物売払」次第、先々より日限相定之通、仕切しきり無レ滞相渡シ」可レ申候、尤もつと金子御入用ニ而、現金ニ仕切御取被レ成候共、」是又早速相渡シ可レ申候、若仲買中如何様之売懸」相滞候とも、各方江無かまいた構、先規方相究申候通仕切」金相渡シ、少も違変申間敷候、為ニ後日一札、仍如レ件

江戸西河岸町

那波屋 十兵衛印

元文四年末九月

江戸四日市町

明石屋与左衛門印

本舟町麻問屋名題

那波屋 十五郎印

支配人

小左衛門印

上州吾妻原町

山口 六兵衛殿

同原町御近辺

御荷主衆中